

2021年04月15日

【格付維持】

タダノ

発行体格付： A－ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

建設用クレーンの世界大手メーカー。ラフテレーンクレーン (RT)、オールテレーンクレーン (AT)、トラッククレーン (TC)、クローラクレーン (ラチスブーム式及び伸縮ブーム式、CC) などの主要機種を幅広く揃える。優れた技術と品質を支えに、中国・ロシア市場を除く世界シェアは3割弱を握る。RTに限れば5割弱だ。車両搭載型クレーンと高所作業車の国内地位も高い。新興国地域でのプレゼンス向上には改善の余地がある。

建設用クレーンは一般建機に比べて経済的耐用年数が長い分、需要の変動幅が大きい。コロナ禍で一般建機以上の需要変動に見舞われているが、採算重視の営業姿勢や生産体制見直し、コストの変動費化、部品・サービス収益の取り込みなどを進めてきたことで、リーマン・ショックの頃と比べても収支構造は改善している。2020年度は営業損益段階からの赤字着地見通しだが、2019年7月に買収した独 Demagブランドのクレーン事業の不採算が主要因だ。既往のドイツ子会社との統合・再建を目指しており、コロナ禍を受けて現地倒産法を活用する方向に切り替えた。2021年3月末に現地裁判所からドイツ子会社2社の事業再生計画に対する最終承認を受けており、今後はこの再生計画に沿って欧州事業の再建を加速する考えだ。人員規模の適正化や年金債務の免除などが固定費削減につながる。コロナ禍により需要回復にやや時間を要する可能性があるが、欧州事業の再建と併せて損益は改善に向かうとみており、全体の収益力を底上げできるか見守る。

Demag事業買収に伴い低下したものの自己資本比率はなお高い。債務償還年数と資本負債構成も格付対比で良好な水準にある。ネットデットに転じたが水準は低位に留まる。当面は大きな投資予定もない。ドイツ子会社の再建策に伴う追加費用が一時的に発生しても、タダノの良好な財務基盤が崩れる懸念は小さい。

【格付対象】

発行者：タダノ (証券コード：6395)

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A－ (維持)	安定的

名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第5回無担保社債	100	2014年06月12日	2024年06月12日	A－ (維持)
第6回無担保社債	150	2019年12月13日	2026年12月11日	A－ (維持)
第7回無担保社債	150	2019年12月13日	2029年12月13日	A－ (維持)
第8回無担保社債	100	2020年07月17日	2025年07月17日	A－ (維持)

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	中村 拓也
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2021年04月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018.05.31] 建設機械 [2018.07.20]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	タダノ
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。 格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。